

# 学 年 通 信 第八号

平成22年2月26日

明秀学園日立高等学校 第1学年

春寒の候、皆様方にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。  
明秀日立生(白梅)の諸君。「明るく・清く・凛々しく」の建学の精神に照らし合わせ、それに適うよう日々を過ごしていますか。

「やるからやる気が出る」を実感していますか。

さて、学年通信第八、九号(次週発行)は、先日行われた進路ガイダンスを振り返りつつ、2学年に進級するまでの今後をいかに過ごすべきか提言したい。この第八号も、よく目につくところに貼り付けておくこと。

『光陰矢の如し。少年老いやすく学成り難し』諸君！思索にふけり、垣根を越えよ。



## 進路ガイダンスを振り返る

### ST, Sコース「希望進路の実現に向けて」

講演者：ベネッセコーポレーション 小田桐 一弘 氏

#### I. 進路選択のステップを知ろう。

【自己理解】→【文理選択】→【学部学科選択】→【志望校選択】

○時間を取り、自分の関心事を確認すること。

○悩む時間は必要。文系から理系、理系から文系への変更は難しい。

#### II. 大学入試の仕組みを知ろう。

○進学してからの変更は難しいので、受験において後悔しない選択を。

○大学によってセンター試験と個別試験との配点が異なる。

○国立と私立の大きな違いは、学生数と教員数の比。国立の方が教員が多いため、学生はきめ細かい指導を受けられる。

#### III. 模試を活かそう。

○今は2年生0学期。

○一科目の偏差値を1上げるのに必要な点数は2点。

#### IV. 合格に向けて。

○偏差値には「48」「58」「68」に壁がある。

○「予習」→「授業」→「復習」→「予習」→…のサイクルが大事。

○偏差値48の壁…宿題を確実にこなすこと。

○偏差値58の壁…テストの復習を行うこと。(茨城大学合格が見える)

○偏差値68の壁…予習に力点を置く。(旧帝大、早慶合格が見える)

○苦手科目は早めに克服すること。

○第一志望校と今の自分との距離を把握する。

○2年生時の努力の差は成績の差に直結する。



正門脇の白梅

### A, Bコース「推薦・AO入試を考える」

講演者：ベネッセコーポレーション 森 大輔 氏

#### I. 自分の将来を考える。

大学卒業後、60歳を定年とすると38年間、社会人生活を送ることとなる。

○どんな職業に就きたいか、自分がどうありたいかをイメージすることから始める。

○「毎日やりたくないことをやる」人と「毎日わくわく」「仕事に行きたい」人と、どちらの自分になりたいかを想像し、自分の将来を考える。

#### II. 職業に対する視野を広げる。

○高校3年間は、社会人基礎力を養い、自分の力を高める期間。友人と仲良くすることも大事。いろいろなことに挑戦しよう。

○どんな職業に就きたいかは、決めつけることなく、まずは職業に対する視野を広げること。

#### III. 進路選択のステップを知る。

「自己理解」→「文理選択」→「学ぶ・学科選択」→「上級学校選択」

#### IV. 大学入試の仕組みを知ろう。

○推薦・AO入試を利用する大学の割合は、前年比約120%。今後も増加する可能性が高い。

○推薦入試は10~12月、AO入試は6~10月の出願・エントリーが多く、対策を立てるのは早いほうがよい。

○推薦(AO)入試適性チェックシート(ガイダンス資料)により、指定校推薦、公募制一般推薦、公募制特別推薦、AO入試のいずれに向いているかチェックしてみよう。

○指定校推薦のポイントは、まずは調べることで、先生にアピールすること、校内選考の対策を考えること。評定平均値が大きく関係してくる。

○新聞を読み、本を読むことで、社会情勢や一般知識を養っておくこと。

#### V. 高校学習の掟

○授業の始まりに集中すること(授業1時間のうち、2分の違いでも5回続けば10分の違いになる)、繰り返し取り組むこと、4回復習すること(ダイアリー、リテラシーノートの活用)。

○「なぜ勉強しなければいけないのか」を、自分なりに考えてみる。

『コツをつかむ』 → 効率よくなる → 結果的に楽しくなる

『やりたいことが多い』 → 優先順位をつける(無駄を省く)

『継続する』 → 教科書を持って帰る(ほんのちょっとの変化) → 3日続ける → 習慣になる

## 3月の主な日程

3/1(月)	卒業式《1学年自宅学習》
2(火)	学年末考査(5日(金)まで)
5(金)	学年末考査最終日 全校集会
8(月)9(火)	考査返却時間割
10(水)	特別編成授業(17日(水)まで)
13(土)	駿台全国マーク模試
18(木)	新入生学力テスト《1学年自宅学習》
19(金)	終業式
20(土)~4/5(月)	春休み

学年末が控えています。備えて下さい。

17日間の春休みがあります。自宅学習の計画を練りましょう。

身なりにしろ、勉強にしろ、注意を受けてもすぐにまた元に戻る。なぜ戻るのが突き詰めよ。この繰り返しを脱せよ。

自ら気付き、動くこと。自発的動機で動くこと。これがなければ我々は変わらない。

時は春。新しい息吹を見つめよ。

諸君、ともに垣根を越えよう。